

目指す姿2

ふれあいと活力ある農山漁村が形成され、**自然環境や美しい景観の保全、文化の伝承、防災といった多面的機能が発揮**されている。

【現状と課題】

- 本市の農林水産業を支える農山漁村は、都市近郊に位置しており、生産地と消費地が近いという特長を有しています。
- 栽培漁業関連施設や漁港施設、ため池・水路、林道などの農林水産業を支える生産基盤の老朽化が進んでおり、近年、気候変動等の影響により頻発する自然災害によってそれらの生産基盤や農山漁村への被害が発生するリスクが高まっています。
- 野生鳥獣による農林水産業への被害が、経営意欲の減退や耕作放棄地の増加の要因となるなど、農山漁村への深刻な影響が懸念されています。

【目指す姿を実現するための方向性】

人 地 域	オ 多様な主体の参画による農山漁村の活性化 農林水産業関係機関や農山漁村地域の住民をはじめ、都市住民や企業、近隣集落が連携・協力するとともに、農山漁村の魅力を発掘・活用し他地域との交流を進める核となる人材を育成することで、多様な主体の参画を促し、農山漁村の活性化を図ります。
活 力	カ 都市と農山漁村との継続的な交流の促進 豊かな農林水産資源と都市近郊型の農山漁村の特長を活かし、教育、福祉、観光等の視点に着目した都市と農山漁村との交流を促進します。また、姫路の農林水産業と農山漁村の魅力を市内外に発信し、地場製品の消費拡大や交流人口の拡大、移住・定住につなげます。
土 台	キ 農山漁村の多面的機能の維持・強化 総合的な有害鳥獣対策や農地・森林、漁場環境の保全活動を進め、自然環境や美しい景観の保全、文化の伝承、防災といった農山漁村の多面的機能の維持・強化に取り組みます。

市民、地域コミュニティ、企業・団体に期待すること

市 民	➤ 姫路をはじめ播磨の農林水産物を知り、積極的に消費するとともに、その魅力をたくさんの人に伝えていきましょう。
地域コミュニティ	➤ 各地域での農林水産業の課題を共有し、地域外の人と交流・協力しながら、地域の特性を活かした活力ある農山漁村を守り、つくっていきましょう。
企業・団体	➤ 農林水産資源の保全と消費者が求める良質な農林水産物の安定的な生産・供給に努めましょう。 ➤ 姫路をはじめ播磨の農林水産物を活用した新たな商品や農林水産業と他の産業を結び付けた新たなサービスの開発・提供に努めましょう。